

2023

# がんプロ学生アンケート 集計結果

2024年1月21日（日）



次世代の九州がんプロ養成プラン

TRAINING PROGRAM FOR NEXT-GENERATION HEALTH PROFESSIONALS  
WITH CANCER CARE IN KYUSHU

# 次世代の九州がんプロ養成プラン 令和5年度 がんプロ学生アンケート

## I. 趣旨・目的

「次世代の九州がんプロ養成プラン」の課題、改善点等を把握するため、がんプロコースを履修している学生（インテンシブコースを含む）に対してアンケートを実施する。

## II. 実施方法・スケジュール

ウェブアンケートの形式にて実施。

時期	内容
12月14日	事業運営推進協議会にて、アンケート内容について審議。
12月27日	各大学を通じ、がんプロコースの学生（インテンシブ含む）に周知。 アンケート回答を促す（締切：1月21日）。
2月	九州がんプロ事務局にて、回答結果を集約。事業運営推進協議会にて報告。 また、令和5年度の内部評価へ反映。
3月以降	九州がんプロホームページにおいて、実施結果を公表。

## III. アンケート設問

末尾に付録として掲載。今年度は、「Microsoft Forms」を利用して作成した。

## IV. 集計結果 総回答者数 38名

### 1. あなたの所属について

1. あなたの所属大学を選んでください。

回答	カウント
九州大学	23
福岡大学	0
久留米大学	2
産業医科大学	0
佐賀大学	1
長崎大学	5
熊本大学	3
大分大学	2
宮崎大学	2
鹿児島大学	0
琉球大学	0

2. あなたの所属しているコースの種別を選んでください。

回答	カウント
大学院コース	37
インテンシブコース	1

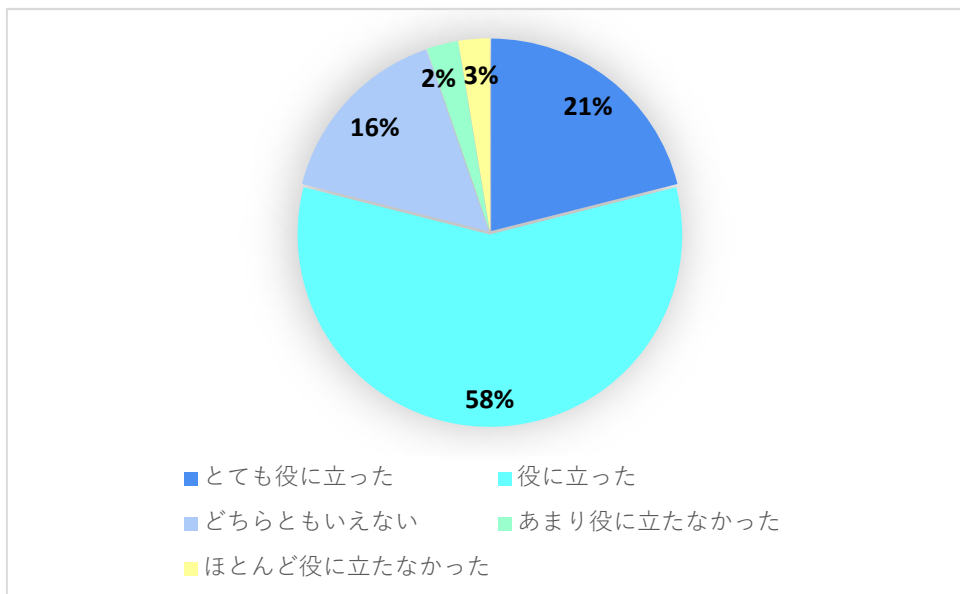
3. あなたの所属する課程を選んでください。

回答	カウント
修士課程	10
博士課程	26
その他	2

## 2. 授業について

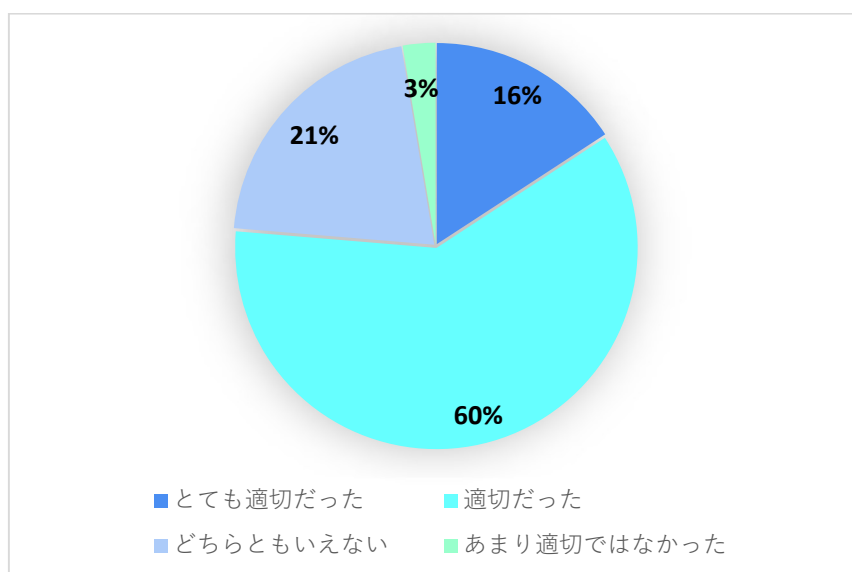
1. 提供された講義・演習等は、あなたの臨床や研究において役立つものでしたか？

回答	カウント
とても役に立った	8
役に立った	22
どちらともいえない	6
あまり役に立たなかった	1
ほとんど役に立たなかった	1



## 2. 提供された講義・演習等の水準（レベル）は、あなたにとって適切でしたか？

回答	カウント
とても適切だった	6
適切だった	23
どちらともいえない	8
あまり適切ではなかった	1
ほとんど適切ではなかった	0



### 2-2. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

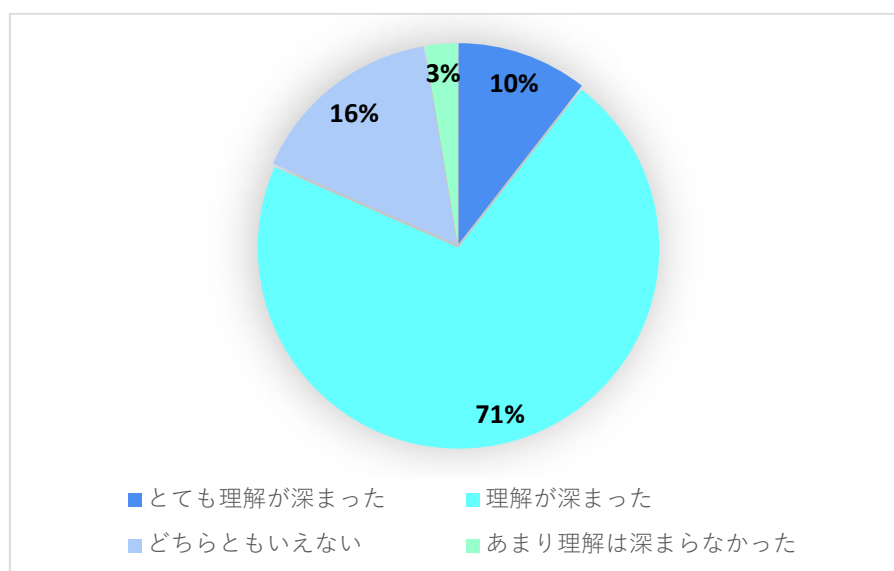
- がんゲノム医療などの最新の研究動向を知り、自分の研究の発展を考える良い機会となった。
- 広い分野について講義の範囲がカバーしていた点は良い。
- 今年は緩和ケアカンファやケモカンファなど臨床をしながら、関係のあることを学ぶことができた。
- 国内の教授や企業のみならず、海外の教授からも講義を受けることができ、様々な話を聞く事ができた。
- 配布資料だけでは理解しにくいものについても、口頭で適切に説明がなされたため。
- 講義については非常に興味深い話を聞くことができ、臨床で働く際に役に立つものであったと思えるが、演習については演習らしいことをした記憶がなく、レベルが適切かどうかを判断できるようなものではなかった。
- 学部の時よりも、もっと詳しく医療について学ぶことができました。
- 各講師の先生方が、基礎的なところから臨床に沿ったところ、最新の研究成果まで幅広く短い時間にまとめて下さっており、どんな聞き手でも身になるような講義になっていたから。
- 提供された講義・演習等は私たちにさまざまな視点を与え、さまざまな研究方法を提供してくれました。
- 複数ある講義の中から自分が興味ある内容の講義を選択できたから。
- 講義の内容が明らかに古いものがあった。他科のことや、統計的な内容の話は役に立った。

3. 今後の講義・演習等で改善して欲しいと思うものがあれば選んでください。また、具体的なご意見があれば、横の欄に記入してください。

項目	カウント	具体的なお意見
配付資料	11	特になし
パワーポイントスライド・板書	9	・配布されなかった資料があったので、できるだけ見直せるように配布してほしいです。
関連する情報や話題の提供	10	・勉強の選択肢が広がるから ・講義を聞いて明らかに古いというのはちょっとどうかかなと思った。
講義室等の環境（開催場所）	1	特になし
開講する曜日・時限	10	・日勤帯は時間が合わないことが多い。録画したものを夕方放送もしくはオンデマンドにしてもらいたい。 ・臨床をしながらだと、なかなか参加できない事もある。 ・開始時間をもう少し後ろの時間にして欲しい。業務で講義冒頭を逃してしまうことがあった。
その他	7	・がんプロに関わる教育者の教育

4. がんプロの講義・演習を受けて、がん医療への理解が深まりましたか。

回答	カウント
とても理解が深まった	4
理解が深まった	27
どちらともいえない	6
あまり理解は深まらなかった	1
ほとんど理解は深まらなかった	0



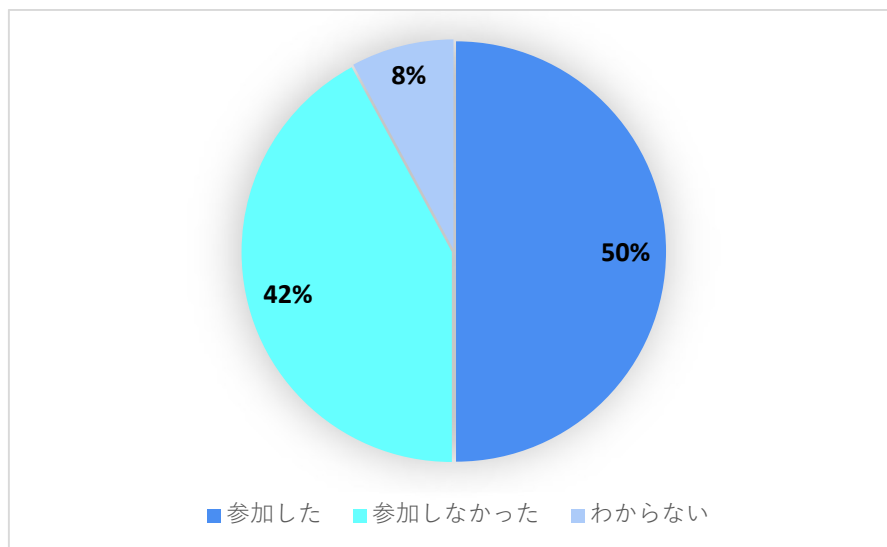
#### 4-2. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 医師、看護師、検査技師など様々な立場からがん医療・研究にどのように携わっているのか知る機会となったから。
- 症例をもとにしたレクチャーでの、新しいガイドライン等をもとにしたディスカッションが勉強になった。
- 訪問診療にて、地域、家庭での患者さんの姿、家族や施設職員の接し方を直に知れてよかった。
- 専門外の診療科でのがん医療の臨床方針、および今後の展望について各専門家がいつまんで説明していただけたから。
- がんブロの講義・演習は、生物学、遺伝学、画像診断など、さまざまな医療分野から行われています。それらを理解することで、腫瘍治療に関する様々な情報を深く理解することができます。
- 講義自体は興味深く聞けたが、自分の関連する分野のトピックは必ずしも多くなく、理解が深まったとは言い難いため。
- がん医療のなかでも特に放射線治療についての理解を深めることはできたが、これはがん医療の中でもごく一部の部分であるので、より放射線治療領域におけるがん医療の知識を蓄えるとともに、化学療法や緩和ケアなどの他の領域におけるがん医療の知識を得ることが必要であるとも感じた。

### 3. 講義・演習以外に関する評価

1. 講義・演習以外に、講演会・講習会・研修（他機関への出張・見学含む）・セミナー・カンファレンスへ参加する機会がありましたか？

回答	カウント
参加した	19
参加しなかった	16
わからない	3

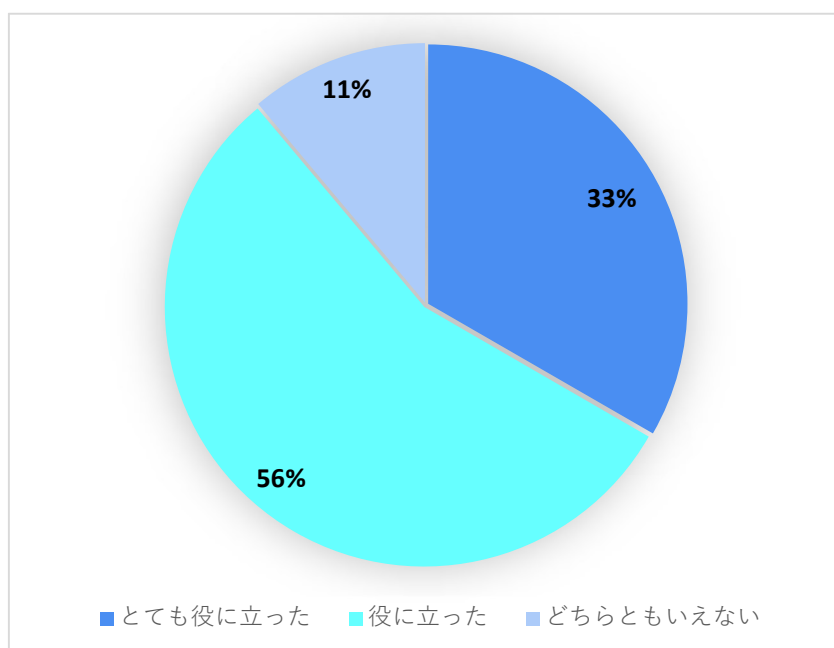


1-2. 「参加した」と回答した方にお聞きします。どのような活動に参加しましたか？（複数選択可）

回答	カウント
カンファレンス	3
セミナー・講演会	11
研修（他機関への出張・見学を含む）	3
学会発表	9

1-3. 参加した活動は、あなたの学習に役立ちましたか？

回答	カウント
とても役に立った	6
役に立った	10
どちらともいえない	2



1-4. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 他の研究者から質問を受け、今までの研究の不足している部分を把握でき、今後の研究に向けた改善ができると思います。
- 分野の第一人者に最先端のお話を伺うことができたため。
- 学会では様々な分野の研究を新たな知見として得ることができ、大学病院へ研修に行かせて頂いたことで実際の業務に携わることができ、共に有意義であったから。
- がん治療に伴う副作用に関して、他大学の先生が行っている研究を知ることができたため。
- がんプロ成果報告会に参加しました。他大学の研究内容の発表を聞き、知見を広げることができ、モチベーションが上がりました。

1-5. 上記(1)で「参加しなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きします。

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

○参加する時間がなかった。

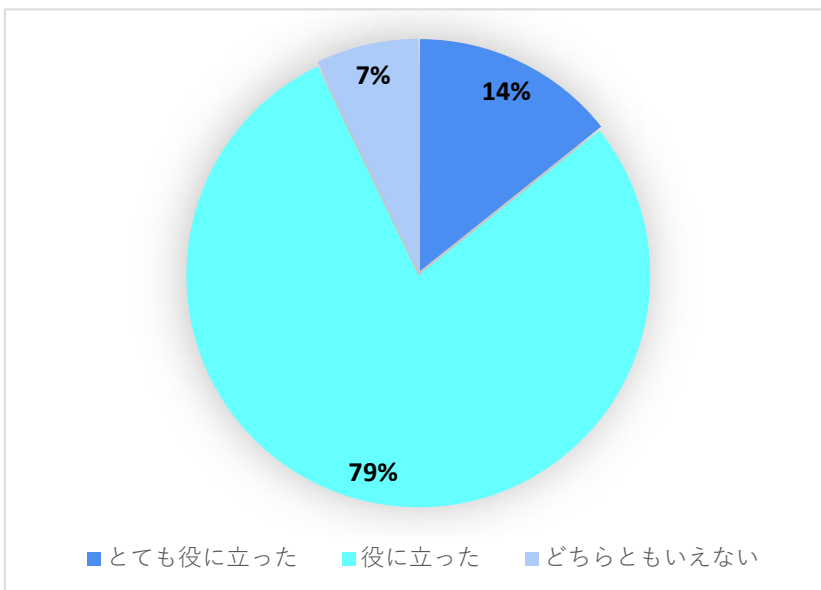
○自身の専攻分野とは異なったため。

2. がんプロの活動を通じて、学生や教員、他職種の医療人との交流を持つ機会がありましたか？

回答	カウント
交流を持った	14
交流はなかった	17
わからない	7

2-2. 「交流を持った」と回答した方にお聞きします。その交流は、あなたの学習に役立ちましたか？

回答	カウント
とても役に立った	2
役に立った	11
どちらともいえない	1
あまり役に立たなかった	0
ほとんど役に立たなかった	0





2-3. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 他職種の医療人との交流で新しい研究ができますと思います。
- 訪問診療の際に偶々介護士もいたことがあった。日頃接点が少ないのでよかった。
- 他の教室の先生方とお話して視野が広がったから。
- 異なる分野の方から斬新な意見をいただくことができたため。
- 研究についてのヒントを得ることができたから。

2-4. 上記(2)で「交流はなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きします。

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 遠隔での講義・講演会等の参加となったため交流を深める機会がなかった。
- 新たな交流はなかった。また、初めて講義して頂いた先生や企業の方々もそれ以降に交流はなかったため。
- 交流についての連絡を共有できていなかった。

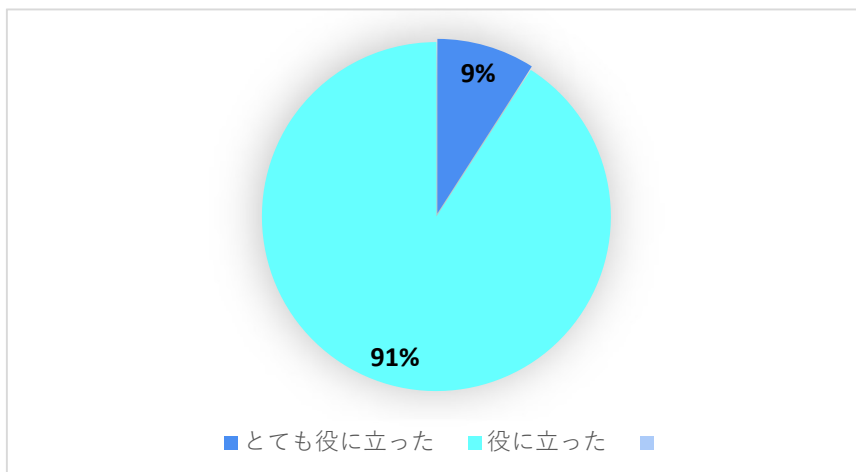
## 4. eラーニングについて

1. eラーニング講義を視聴したことがありますか？

回答	カウント
はい	22
いいえ	16

1-2. eラーニング講義は、あなたの学習に役立ちましたか？（上記1で「はい」と回答した方のみ）

回答	カウント
とても役に立った	2
役に立った	20
どちらともいえない	0
あまり役に立たなかった	0
ほとんど役に立たなかった	0



1-3. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

○一大学だけで幅広い広義を提供するのは難しいと思うので。オンラインは、時間や場所の制約を受けにくかったのがよかった。

○聞き逃した部分を聞き直せることができるため。

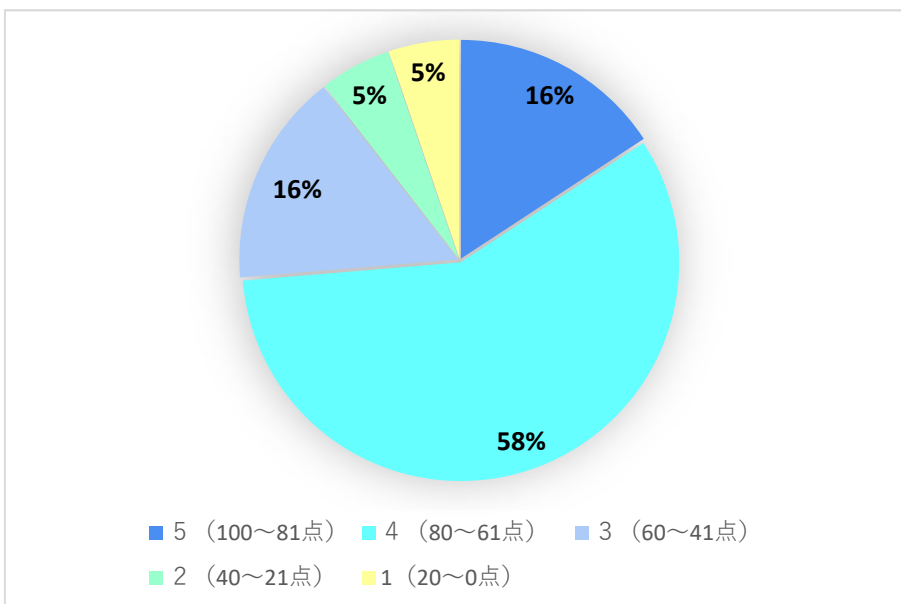
○毎年内容を更新していただいたり、動画を登録している施設が増えるとさらに役立つと思うから。

○遠方の講義にも参加できたため。

## 5. 全体の満足度

1. がんプロに参加して、現時点でのあなたの全体的な満足度（点数）をお聞かせください。

回答	カウント
5 (100~81点)	6
4 (80~61点)	22
3 (60~41点)	6
2 (40~21点)	2
1 (20~0点)	2



## 2. がんプロに参加して、良かった点・継続して欲しい点を記入してください。

- 他職種のがん医療研究の最新の動向を知ることができた。様々な医療職の先生方のお話を聞ける点。
- がん医療に関する知識が深まったことは、今後の自分のキャリアを踏まえると良い経験になったと思う。
- 様々な先生や企業の方のお話を聞ける機会は良かった。継続して頂きたい。
- 自身の研究分野以外に関する分野の最新の動向について情報を収集することは難しいため、最新の技術やトレンドについてご教示いただきたい。
- 最先端のがん医療における研究の話を知ることができること。
- 情報の共有ができていない講義や講演などの情報をもっと発信していただきたい。
- 薬物療法専門医のサマリー添削は大変役立ちました。有料でもいいので継続いただきたいです。
- がんプロ成果報告会やがんプロ全体研修会のような他大学とのイベントを継続して欲しいです。
- がんに関わる他科の先生方やコメディカルの方と、ディスカッションをしたり業務を学んだりできたのはがんプロのおかげだと感じている。
- Oe-learning の自分の興味ある分野を好きなタイミングで受講できる点が良かった。

## 3. がんプロに参加して、改善して欲しい点・提案があれば記入してください。

- 小児科・放射線科で腫瘍に関わっている場合は、自分が直接関係しない分野の講義が増えて研究時間が削られるばかりで、臨床腫瘍学会の専門医も取得できず、講義を聞いてみたいという人を除けばメリットがないように感じます。当科の諸先輩方がこのコースだからという理由だけで勧められ選択しましたが、小児科・放射線科の医師にも有用なコースになると嬉しいです。
- 情報が古いこともあったため最新の情報に更新してほしいです。
- イベントのアナウンスが遅く、予定の調整に苦慮しました。もう少し早めの周知をお願いしたいです。
- スライド資料などフォントの大きさの関係で印刷した際に読めない時がありましたのでもう少し文字を大きくしていただきたいです。


## V. 次回アンケート実施に向けて

- ・今回の回答結果をもとに講義・事業の改善を行うとともに、必要に応じて学生との面談等も行うことで、学生の意見を的確に把握し、今後の事業のPDCAサイクルに反映させていく。

### 付録：アンケート設問内容

回答者が実際に閲覧した画面を以下に掲載。設問、選択肢の一覧は末尾に併せて掲載。

# 令和5年度「次世代の九州がんプロ養成プラン」在学生アンケート調査

1. 1-1.あなたの所属大学を選んでください。\* 

- 九州大学
- 福岡大学
- 久留米大学
- 佐賀大学
- 長崎大学
- 熊本大学
- 大分大学
- 宮崎大学
- 鹿児島大学
- 琉球大学
- 産業医科大学

2. 1-2.あなたの所属しているコースの種別を選んでください。

\* 

- 大学院コース
- インテンシブコース

3. 1-3.あなたの所属する課程を選んでください。\*

- 修士課程
- 博士課程
- その他

4. 2-1.提供された講義・演習等は、あなたの臨床や研究において役立つものでしたか？

\*

- とても役に立った
- 役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

5. 2-2.提供された講義・演習等の水準（レベル）は、あなたにとって適切でしたか？ \*

- とても適切だった
- 適切だった
- どちらともいえない
- あまり適切ではなかった
- ほとんど適切ではなかった

6. 2-3.上記(2-2)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

\*

回答を入力してください

7. 2-4. 今後の講義・演習等で改善して欲しいと思うものがあれば選んでください。(複数可) \*

- 配付資料
- パワーポイントスライド・板書
- 関連する情報や話題の提供
- 講義室等の環境(開催場所)
- 開講する曜日・時間
- その他(\*内容は、下記2-5に記述願います。)

8. 2-5. 上記(2-4)の選択肢を選んだ理由について、具体的なご意見があれば、お聞かせください。また、(その他)を選択された場合、具体的な内容をこちらにご記載ください。

回答を入力してください

9. 2-6. がんプロの講義・演習を受けて、がん医療への理解が深まりましたか。

\*

- とても理解が深まった
- 理解が深まった
- どちらともいえない
- あまり理解は深まらなかった
- ほとんど理解は深まらなかった

10. 2-7. 上記(2-6)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

\*

回答を入力してください

11. 3-1. 講義・演習以外に、講演会・講習会・研修(他機関への出張・見学会含む)・セミナー・カンファレンスへ参加する機会がありましたか？

\*

- 参加した
- 参加しなかった
- わからない

12. 3-2.「参加した」と回答した方にお聞きます。どのような活動に参加しましたか？（複数可）

- カンファレンス
- セミナー・講演会
- 研修（他機関へ出張・見学を含む）
- 学会発表
- その他

13. 3-3.参加した活動は、あなたの学習に役立ちましたか？

- とても役に立った
- 役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

14. 3-4.上記(3-3)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください

回答を入力してください

15. 3-5.上記(3-1)で「参加しなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きます。上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせ下さい。

回答を入力してください

16. 3-6.がんブロの活動を通じて、学生や教員、他職種の医療人との交流を持つ機会がありましたか？ \*

- 交流をもった
- 交流はなかった
- わからない

17. 3-7.「交流を持った」と回答した方にお聞きます。その交流は、あなたの学習に役立ちましたか？

- とても役に立った
- 役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

18. 3-8.上記(3-7)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

\*

回答を入力してください

19. 3-9.上記(3-6)で「交流はなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きます。上記の選択肢を選んだ理由について具体的にお聞かせ下さい。

回答を入力してください

20. 4-1.eラーニング講義を視聴したことがありますか？

\*

- はい
- いいえ

21. 4-2.eラーニング講義は、あなたの学習に役立ちましたか？ \*

- とても役に立った
- 役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

22. 4-3.上記(4-2)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。 \*

回答を入力してください



23. 5-1.がんプロに参加して、現時点でのあなたの全体的な満足度（点数）をお聞かせください。

\*

5（100～81点）

4（80～61点）

3（60～41点）

2（40～21点）

1（20点～0点）

24. 5-2.がんプロに参加して、良かった点・継続して欲しい点を記入してください。\*

回答を入力してください

25. 5-3.がんプロに参加して、改善して欲しい点・提案があれば記入してください。

回答を入力してください

送信

文部科学省『次世代のがんプロフェッショナル養成プラン』採択事業



## 次世代の九州がんプロ養成プラン

TRAINING PROGRAM FOR NEXT-GENERATION HEALTH PROFESSIONALS  
WITH CANCER CARE IN KYUSHU

令和5年度 がんプロ学生アンケート集計結果

---

発行 令和6（2024）年4月  
編集・発行 九州大学大学院医学研究院 連携腫瘍学分野（九州がんプロ事務局）  
ijsganpro@jimu.kyushu-u.ac.jp  
<http://www.k-ganpro.com/>